



広島県公立大学法人

叡啓大学

資料提供

令和5年8月29日

所属：広島県公立大学法人
叡啓大学教育企画課
担当者：教育企画課長 永谷
連絡先：082-225-6312

叡啓大学が地域通貨を活用し、 地域の循環型社会実現に貢献するプロジェクトに参画

叡啓大学（学長 有信睦弘、広島市中区）が参画大学となり、代表機関の慶應義塾大学が幹事自治体の鎌倉市、幹事企業の株式会社カヤック、他の参画企業及び大学との共創により応募提案した「リスペクトでつながる「共生アップサイクル社会」共創拠点」が、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）による「共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)」の地域共創分野*・本格型プロジェクトとして、本年度採択されました。

叡啓大学もこの研究プロジェクトへ参画し、本学の研究開発責任者である保井俊之・学部長教授をはじめとする研究チームが、幹事企業及び他の参画企業・大学と連携し、神奈川県鎌倉市をフィールドとして、環境配慮行動を促し消費者から循環者への意識と行動の変容を促す新たな地域通貨の設計及び実証実験を通じて、地域の主観的ウェルビーイング向上を中心とした「リスペクト経済」の価値指標の開発を担当します。

本プロジェクトは、2021年より進められてきたJST COI-NEXT地域共創分野育成型「デジタル駆動超資源循環参加型社会共創拠点」が本格型へと昇格したもので、今後最大10年間のプロジェクトで、市民の自発的な環境配慮行動を促し、ウェルビーイングを向上する地域通貨に関する研究を、基礎研究から社会実装へつなげていきます。

*国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)が令和2年度から開始している研究プログラムで、大学等を中心として、企業や地方自治体・市民等の多様なステークホルダーを巻き込んだ産学官共創により、ウィズ／ポストコロナ時代を見据えつつ、国連の持続可能な開発目標（SDGs）に基づく未来のありたい社会像を地域拠点ビジョンとして掲げ、その実現のため「バックキャストによるイノベーションに資する研究開発」とそれを支える「自立的・持続的な拠点形成が可能な産学官共創システムの構築」をパッケージで推進するものです。地域共創分野では、本年度は本格型が5拠点、本格型昇格が5拠点、育成型が8拠点、の計18拠点が採択されています。

取材いただける場合は、お電話又はメールでご連絡ください。

叡啓大学広報担当(越智・日浦)

TEL:080-9208-0466

メール:publicrelations@eikei.ac.jp